

斑点米カメムシ類「クモヘリカメムシ」の分布域拡大

福島県農業総合センター 生産環境部 作物保護科

1 部門名

水稲－水稲－病害虫防除

2 担当者名

松木伸浩、山内富士男、岸 正広

3 要旨

本県におけるクモヘリカメムシの分布は、これまで浜通り沿岸部と中通り南部であった。近年、阿武隈高地（石川郡古殿町等）でも確認され、分布域の拡大が懸念されている。そこで、これまで分布していないと考えられていた県北地方等で発生調査を行った結果、複数地点の水田内で1世代を経過していることを確認し、斑点米被害の一因となっていることが明らかになった。

- (1) 県北地方 8 地点、相馬郡飯館村 4 地点の水田で調査した結果、クモヘリカメムシ成虫が 8 地区で確認され、そのうち 5 地点では幼虫も発生していた（図 1、2）。
- (2) 本種は、イネ出穂後、水田内に侵入し 1 世代を経過していることが明らかとなった。
- (3) 幼虫の発生が見られた水田で斑点米被害を調査したところ、本種加害による斑点米が確認された（図 3）。
- (4) 本種の分布は、冬季の気象条件により影響を受けると考えられる。



図1 クモヘリカメムシ成虫
(体長15～17mm)

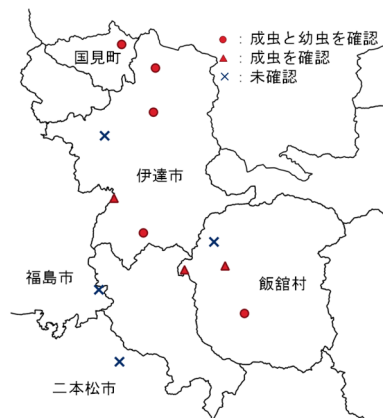


図2 クモヘリカメムシの分布
2020年8月に水田内すくい取り調査（20回振り
×4カ所/地点）を3回実施した。



図3 クモヘリカメムシ加害
による斑点米

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 27～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 新奇・難防除病害虫に対する防除技術の開発

5 主な参考文献・資料

- (1) 田淵ら、クモヘリカメムシ（カメムシ目ホソヘリカメムシ科）の岩手県からの初分布記録、被害発生状況および越冬可能地域、北日本病害虫研報, 71, p.108-113, 2020.